

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第13期5月度理事会議事録

- I. 日 時：平成28年5月22日（日）13:15～17:00
- II. 場 所：東京都千代田区 東京国際フォーラムガラス棟 508会議室
- III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数18名（内委任出席1名）
- IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、赤松利恵、荒川義人、石田裕美、笠原賀子、川久保清、川島由起子、酒井徹（第64回学術総会会長）、下浦佳之、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、新澤祥恵、南久則、村山伸子、八木典子、由田克士、上西一弘（委任出席）
- 欠席理事氏名：鈴木公（副理事長）
- 出席監事氏名：鈴木和春、林静子
- その他の出席者：吉池信男（第63回学術総会会長）、柳元和（倫理指針検討WG委員長）
- V. 議事録署名人の選任に関する事項
- 議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、石田裕美理事及び酒井徹理事を選任することを全員異議なく承認した。
- VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者
- 【I. 庶務関連事項】
1. 役員の異動（川島庶務担当理事）
 2. 会員の異動（川島庶務担当理事）
 - （1）正会員の休会
 - （2）協力会員の入退会
 3. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦（武見理事長）
 4. 次期評議員候補者の選出（川島庶務担当理事）
 5. 文部科学省「科研費審査システム改革2018」について意見提出（武見理事長）
 6. 文部科学省大学設置・学校法人審議会に「栄養学専門員会」設置の要望書を提出することについて（武見理事長）
 7. 平成28年度通常総会・評議員会の準備（川島庶務担当理事）
 8. 今後の会議予定（川島庶務担当理事）
- 【II. 財務関連事項】
1. NPO第13期経費執行状況と見込決算（塚原財務担当理事）
 2. NPO第13期会員（会費納入）の状況（塚原財務担当理事）
- 【III. 編集関連事項】
1. 栄養学雑誌編集委員会報告（瀧本理事・編集委員長）
- 【IV. 学術関連事項】
1. NPO第13期事業執行状況（赤松学術担当理事）
 2. 平成28年度功労賞・学会賞・奨励賞（武見理事長）
 3. 第62回学術総会会計報告（塚原財務担当理事）
 4. 第63回学術総会準備状況（吉池第63回学術総会会長）
 5. 第64回学術総会準備状況（酒井第64回学術総会会長）
 6. 第65回（2018年）以降の学術総会の開催（武見理事長）
 7. 倫理指針検討WG報告（柳WG委員長）
 8. 利益相反マネジメントの対応（赤松学術担当理事）
 9. 実践栄養学研究セミナー第63回学術総会でのワークショップ（赤松学術担当理事）
 10. 「健康な食事」の推進のための取組の検討（赤松学術担当理事）
 11. 関連学協会等との連携（回覧資料）

- (1) CKD啓発イベント講演会「新たなCKD対策に向けて～J-CKDIのCKD対策10年間の成果と今後の課題～」への参加
- (2) 平成28年度全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会への参加
- (3) 第9回生活科学系コンソーシアム総会への参加（川久保理事）
- (4) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所「第7回アジア栄養ネットワークシンポジウム」後援・開催報告
- (5) 国際高血圧学会（ISH2022）誘致協力（誘致招請状）
- (6) 独立行政法人日本学術振興会「第13回（平成28年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」周知協力
- (7) 一般財団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念食と環境の科学賞」周知協力
- (8) 公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金「栄養改善に関する普及啓蒙活動助成部門平成28年度募集」周知協力
- (9) 公益財団法人ロッテ財団「食と健康分野の若手研究者対象研究助成公募」周知協力
- (10) 公益財団法人地域創造基金さなぶり「東北復興データプロジェクト現場で役立つ復興論文大賞」周知協力
- (11) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成28年度後期シンポジウム開催等助成対象者募集」周知協力
- (12) やずや食と健康研究所「2016年度研究助成」周知協力
- (13) 一般社団法人臨床栄養実践協会「第3回記念セミナー」後援御礼
- (14) 一般社団法人和食文化国民会議平成27年度活動報告
- (15) お茶の水女子大学生生活環境教育研究センター「多様な食育の場に対応可能な高度専門家の育成プロジェクト」最終報告

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）
2. メールマガジンの検討（酒井広報担当理事）

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告（村山国際担当理事）
 - (1) 国際学会等運営・連携・協力
 - (2) 学術総会での国際企画等
 - (3) 内閣府栄養改善事業の国際展開検討チームへの参加
 - (4) 国際協力活動

【VII. 支部会報告】

1. 地方支部会の運営について
 - (1) 地方支部会に関する申し合わせの見直し（塚原財務担当理事）
 - (2) 支部会活動におけるマイナンバー制度への対応（塚原財務担当理事）
 - (3) 実践栄養学研究セミナー－地方支部会での実施に向けて－（赤松学術担当理事）
2. 各支部会からの活動報告
 - (1) 北海道支部会（荒川理事）
 - (2) 東北支部会（笠原理事）
 - (3) 関東・甲信越支部会（石田理事・関東・甲信越副支部長）
 - (4) 北陸支部会（新澤理事・北陸支部長）
 - (5) 東海支部会（塚原理事・東海支部長）
 - (6) 近畿支部会（由田理事・近畿支部長）
 - (7) 中国支部会（名和田理事）
 - (8) 四国支部会（酒井理事・四国支部長）

(9) 九州・沖縄支部会（南理事・九州・沖縄支部長）

【Ⅷ. NPO第14期事業計画案及び予算案】

1. NPO第14期事業計画案及び予算案の骨子（武見理事長）

【Ⅸ. 回覧資料による各種報告】

1. 学会誌転載許諾（回覧資料）

- (1) NPO法人食生態学実践フォーラム
- (2) 株式会社ニッピバイオマトリックス研究所
- (3) 第一エージェンシー
- (4) 株式会社スペースエイジ

2. 複写に係る著作権使用料の分配報告（回覧資料）

- (1) 一般社団法人学術著作権協会

Ⅷ. 議事の経過の概要及び議決の結果

【Ⅰ. 庶務関連事項】

1. 役員の異動・・・次の異動について報告があった。4月1日現在の役員名簿が配付された。

理事 平成28年2月29日辞任 河野美穂

評議員 平成28年3月31日退会 白鷹増男 横山公通

平成28年3月31日辞任 鈴木和枝

2. 会員の異動

(1) 正会員の休会・・・1名の正会員から休会届の提出があったことが報告され、これを承認した（会員に関する細則第4条）。なお休会会員の氏名は個人情報保護の立場から非公開とする。

(2) 協力会員の入退会・・・次の入退会について報告があった。5月18日現在の協力会員名簿（19社・20口）が配付された。

平成28年3月2日退会 SBIファーマ株式会社

平成28年3月30日入会 ゼスプリインターナショナルジャパン株式会社

3. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦・・・4月16日の名誉会員・終身会員推薦委員会の結果、終身会員候補者として北川郁美氏、續順子氏を、評議員会・通常総会に推薦することを承認した。名誉会員候補者は該当者なしであった。

4. 次期評議員候補者の選出・・・新規一般推薦（評議員3名または正会員5名の推薦）候補者43名と日本栄養士会長推薦候補者28名（新規4名、重任14名）が、配付資料により提案され、評議員会・通常総会に上程することを承認した。一般推薦の重任候補者については次回理事会で提案する旨、説明があった。

5. 文部科学省「科研費審査システム改革2018」について意見提出・・・科学研究費助成事業（科研費）審査システム改革2018の意見募集について、評議員に意見提出を呼びかけるとともに、学会として意見を提出した。さらに、栄養学関係6学会（日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、日本栄養学教育学会、日本健康・栄養システム学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会）を代表して武見理事長、田中日本健康・栄養システム学会理事、中村日本栄養学教育学会理事長が、5月19日に文部科学省研究支援局長を訪問し、要望書を提出した。面談の結果、さらに補足説明資料の提出を行うことになったが、この対応について役付理事で行うことを了承した。

6. 文部科学省大学設置・学校法人審議会に「栄養学専門員会」設置の要望書を提出することについて・・・大学設置・学校法人審議会における栄養学関係の学部・大学院の設置に関する審査体制の現状が配付資料により説明され、「栄養学専門員会」設置の要望書提出に向け、関連学会で協議を始めることを了承した。

7. 平成28年度通常総会・評議員会の準備・・・通常総会・評議員会の議題について原案の一部を

修正し、これを承認した。総会開催までのスケジュールを確認した。

8. 今後の会議予定…新たに組織した各種委員会・事業の予定も組み入れた今後の会議予定表が配布され、これを確認した。

【Ⅱ. 財務関連事項】

1. NP0第13期経費執行状況と見込決算…5月13日現在の経費執行状況（活動計算書、事業別損益計算の状況、貸借対照表、収支計算内訳書）と年度末見込計算書が配付され、これを了承した。
2. NP0第13期会員（会費納入）の状況…4月13日現在の支部会別会員数（都道府県別付き）が配布された。今期末も会員数が前期ならびに予算会員数を下回る見込みである旨、説明があった。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告…4月30日現在の栄養学雑誌投稿・掲載等の状況が配付された。2016年に入り投稿数が増えていることが報告された。

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. NP0第13期事業執行状況…5月13日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 平成28年度功労賞・学会賞・奨励賞…4月21日に開催した学会賞等選考委員会の報告を受け、平成28年度の受賞者を次のとおり決定した。

功労賞 木戸康博、早瀬仁美

学会賞 該当者なし

奨励賞 佐藤陽子、秦希久子、松下由実

3. 第62回学術総会会計報告…法人税課税対象収支を含む会計報告が配付され、これを了承した。第62回学術総会会長より、学術総会で購入した消耗品（パソコン、プリンター等269,356円）について、事務局を設置していた福岡女子大学に寄贈したい旨、書面により申し出があり、これを承認した。

第62回学術総会の剰余金（学術総会の運営に関する申し合わせに基づく100万円）の用途について、武見理事長から熊本地震の義援金とすることが提案され、第62回学術総会を担当した九州・沖縄支部会の意向を確認し、決定することを承認した。九州・沖縄支部会では6月末日までに、支部会の希望を調整して事務局に連絡することとし、具体的な執行は理事長、財務担当理事、監事に一任することを承認した。

4. 第63回学術総会準備状況…栄養学雑誌74巻3号に掲載する開催案内（3）が配布された。事前参加登録者への講演要旨集は、まずはPDF（パスワード設定）で提供し、学術総会当日、冊子体で提供することが報告された。

5. 第64回学術総会準備状況…平成29年（2017年）9月13日から15日にアスティ徳島で開催することが報告された。参加費が提案され、これを承認した。

〔参加費〕事前登録：正会員8,000円、学生会員3,000円、日本栄養士会会員11,000円

当日登録：正会員11,000円、学生会員4,000円、日本栄養士会会員13,000円、

学生（学生会員以外）6,000円、前述以外の者15,000円

6. 第65回（2018年）以降の学術総会の開催…学術総会の開催は、NP0第10期5月度理事会で承認された支部会持ち回り順で実施している。この持ち回り順により第65回は北陸支部会で準備を進めていたが、2021年9月に東京で開催される22nd IUNS-ICNと本学会学術総会の連携開催について打診を受けていることが説明された。現在の持ち回り順では、関東・甲信越支部会が隔年で担当することとなり、対応が難しいことから持ち回り順の見直し案が提案され、これを承認した。

第65回（2018年）関東・甲信越、第66回（2019年）北陸、第67回（2020年）北海道、

第68回（2021年）関東・甲信越、第69回（2022年）中国、第70回（2023年）東海、
第71回（2024年）近畿

7. 倫理指針検討WG報告・・・4月10日のWG会議記録が配布され、理事長の付託事項に対するWGの答申が報告された。WGでは「倫理審査委員会は設置しない（できない）」という結論に至ったが、理事会では「倫理審査委員会を存続する」あるいは「設置（の可否）について結論が出せない」という意見があり、継続審議となった。理事長から、「WGは限られた期間の中で真摯な審議の基で答申されていることから、WGの使命は完遂したと考える。今後の議論は理事会で行う」旨、発言があり、了承された。鈴木監事から栄養学雑誌編集委員会の意見も審議に反映して欲しい旨、発言があった。
8. 利益相反マネジメントの対応・・・配布された「栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針」と「栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針の細則」の原案について、各理事持ち帰って検討し、6月20日までに事務局宛に意見を提出することとした。なお、施行年月日の修正は、本理事会で合意した。本件は次回8月度理事会での採択を目指している。採択後、役員は直ちに（第63回学術総会会期前に）利益相反の申告を行うことを確認した。また、利益相反委員会の設置にあたり、この委員候補者の人選は理事長と学術担当理事に一任することを了承した。
9. 実践栄養学研究セミナー第63回学術総会でのワークショップ・・・第63回学術総会ワークショップ「実践現場からの科学的根拠の発信～「実践報告」論文の充実に向けて～（仮）」について、配付資料により報告された。このワークショップは学術総会プログラムとして実施するため、他の学術総会プログラムと同様に参加についての制限は設けていないが、各支部会の役員（支部長、学術担当者など）は積極的に参加して欲しい旨、理事長から発言があった。
10. 「健康な食事」の推進のための取組の検討・・・前回理事会で提案した事業名（前は「生活習慣病予防その他の健康増進を目的とした食事」）を変更したことが説明され、4月1日に開催した作業部会の議事録が配布された。厚生労働省担当官に学会での取組を報告し、情報共有しながら、事業を進めていることが補足され、コンソーシアム（共同体）の立ち上げ、スケジュールの概要について了承した。
11. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。
 - (1) CKD啓発イベント講演会「新たなCKD対策に向けて～J-CKDIのCKD対策10年間の成果と今後の課題～」への参加
 - (2) 平成28年度全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会への参加
 - (3) 第9回生活科学系コンソーシアム総会への参加・・・理事長と川久保理事が参加した総会について、川久保理事から配付資料により報告があった。
 - (4) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所「第7回アジア栄養ネットワークシンポジウム」後援・開催報告
 - (5) 国際高血圧学会（ISH2022）誘致協力（誘致招請状）
 - (6) 独立行政法人日本学術振興会「第13回（平成28年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」周知協力
 - (7) 一般財団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念食と環境の科学賞」周知協力
 - (8) 公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金「栄養改善に関する普及啓蒙活動助成部門平成28年度募集」周知協力
 - (9) 公益財団法人ロッテ財団「食と健康分野の若手研究者対象研究助成公募」周知協力
 - (10) 公益財団法人地域創造基金さなぶり「東北復興データプロジェクト現場で役立つ復興論文大賞」周知協力
 - (11) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成28年度後期シンポジウム開催等助成対象者募集」周知協力

- (12) やずや食と健康研究所「2016年度研究助成」周知協力
- (13) 一般社団法人臨床栄養実践協会「第3回記念セミナー」後援御礼
- (14) 一般社団法人和食文化国民会議平成27年度活動報告
- (15) お茶の水女子大学生生活環境教育研究センター「多様な食育の場に対応可能な高度専門家の育成プロジェクト」最終報告

【V. 広報関連事項】

- 1. ホームページ事業・・・5月18日現在の更新情報が配布資料により報告された。ホームページのリニューアルについては、①次回8月度理事会を目的に広報担当と事務局で作業を進めていること、②必要なソフトの購入など今期の予算内で執行する予定であること、が説明され、これを了承した。
- 2. メールマガジンの検討・・・ホームページの見直し後に検討したいことが説明され、これを了承した。

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告

- (1) 国際学会等運営・連携・協力・・・22nd IUNS-ICN(2021)について、衛藤久美、田中清、三好美紀、村山伸子、吉池信男の5名が準備委員として参画することを承認した。現時点では準備委員会の会議出席旅費は各学会の負担であることが説明され、これを了承した。5月13日現在の組織委員会（第一次）案が配布された。

2017年3月7日から9日に医薬基盤・健康・栄養研究所で開催する第3回IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップについて、清水日本学術会議IUNS分科会委員長から共同主催（日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、医薬基盤・健康・栄養研究所の3団体共催）の依頼があった。これを承認し、①村山伸子（実行委員長）、石川みどり、石田裕美、吉池信男の4名を実行委員とすること、②主催団体の分担金100万円を来期予算に計上すること、を了承した。今後、実行委員を追加する場合の人選は、理事長と国際活動推進委員長に一任することを了承した。林監事から、会計について、3団体の分担金で運営する点に配慮するよう、発言があった。

- (2) 学術総会での国際企画等・・・第63回学術総会で実施する日韓教育講演と日韓シンポジウムについて配付資料により報告された。学術総会での英語セッションの常設と隔年実施している日韓シンポジウムの安定かつ効率的な運営に資するため、国際活動推進委員会でマニュアルを作成する予定であることが説明され、これを了承した。
- (3) 内閣府栄養改善事業の国際展開検討チームへの参加・・・3月16日に開催された第7回会議（武見理事長参加）の記録配付、および5月20日に開催された第8回会議（村山国際活動推進委員長出席）について報告された。検討チームは5月20日の会議をもって終了したこと、今後の展開として、行政と連携しつつ企業・学協会で組織する栄養改善事業推進プラットフォームに本学会は参加すること、が説明され、これを了承した。
- (4) 国際協力活動・・・日本の栄養改善活動を見える化し海外に発信するとともに、アジア・アフリカ諸国における栄養改善への貢献を目的に、「学校給食」をテーマとした情報発信事業について、配付資料により提案があった。事業の概要について了承し、実現に向けた準備（事業協力者の募集、栄養学雑誌サプリメント刊行のための検討、英語を言語とする投稿規程の整備等）を行うことを了承した。

【VII. 支部会報告】

1. 地方支部会の運営について

- (1) 地方支部会に関する申し合わせの見直し・・・各支部会から提出された意見・要望を基に、作成した見直しの方針が配付資料により提案された。これについて、再度、各支部長に意見を募り、それを反映して次回8月度理事会で審議することを了承した。

(2) 支部会活動におけるマイナンバー制度への対応…対応策として、各支部会で管理する方法と、本部で管理する方法が紹介された。本学会の活動においてマイナンバーを利用する業務の実施は、本年末頃であることから、本理事会では情報提供に留め、9月に予定している支部長会議で実務的な検討を行うことを了承した。参考資料として本部が予定しているマイナンバー取扱い業務にかかる様式等が配布された。

(3) 実践栄養学研究セミナー-地方支部会での実施に向けて-…実践栄養学研究セミナーの支部会実施に向けた支援の概要が配付資料により提案された。本件は9月7日の支部長会議、9月8日のワークショップ等での意見交換を踏まえて、整備することが説明された。

2. 各支部会からの活動報告

(1) 北海道支部会…第14回支部会学術総会は山部秀子天使大学教授を学術総会会長とし、12月3日に藤女子大学で市民公開講座とともに開催する。

(2) 東北支部会…第63回学術総会に向けて準備を行っている。7月2日に盛岡で市民公開講座を開催する。

(3) 関東・甲信越支部会…第3回支部会学術総会は川島由起子聖マリアンナ医科大学病院栄養部参与を学術総会会長とし、3月12日に相模女子大学で開催した。また支部会総会で武見ゆかり女子栄養大学教授から石見佳子医薬基盤・健康・栄養研究所部長に支部長が交代した。8月に長野で市民公開講座を開催する。

(4) 北陸支部会…第11回学術総会は原田澄子富山県栄養士会会長を学術総会会長とし、2月21日に富山県総合福祉会館で市民公開講座とともに開催した。

(5) 東海支部会…第5回支部会学術総会は丸山智美金城学院大学教授を学術総会会長とし、6月25日に金城学院大学で市民公開講座とともに開催する。

(6) 近畿支部会…開催する近畿支部会主催の実践栄養学研究セミナー（ステップ1）について、資料が配付された。

(7) 中国支部会…第12回支部会学術総会は川上貴代岡山県立大学教授を学術総会会長とし、6月25日から26日に岡山県立大学で市民公開講座とともに開催する。

(8) 四国支部会…第3回支部会学術総会は、渋谷まゆみ四国大学教授を学術総会会長とし、4月23日に四国大学で市民公開講座ともに開催した。

(9) 九州・沖縄支部会…第4回支部会学術総会は三成由美中村学園大学教授を学術総会会長とし、9月17日に中村学園大学で市民公開講座とともに開催する。

【VIII. NPO第14期事業計画案及び予算案】

1. NPO第14期事業計画案及び予算案の骨子…事業計画案と予算案の概要が配付された。理事長から、約1500万円の赤字予算については、積極的な学会活動を展開する上でやむを得ない面もあるが、14期に実施する活動の精査、会議費の見直し（旅費に関する申し合わせの見直し）等を行い、赤字の減少に努力する旨、発言があった。

【IX. 回覧資料による各種報告】

1. 学会誌転載許諾…理事長から、下記の(1)(2)は転載を許可し、(3)(4)は許可しなかったことが報告された。許可しないと判断した理由を添えた回答文書とともに回覧され、これを了承した。

(1) NPO法人食生態学実践フォーラム

(2) 株式会社ニッピバイオマトリックス研究所

(3) 第一エージェンシー

(4) 株式会社スペースエイジ

2. 複写に係る著作権使用料の分配報告…回覧資料により報告があり、これを了承した。

(1) 一般社団法人学術著作権協会

以上